
ただの日常

あんぱん

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ただの日常

【Nコード】

N5772S

【作者名】

あんぱん

【あらすじ】

普通に過ごす日常の、ほんの二コマ。

（前書き）

急に書きたくなつて書いた。後悔はしていない。

「　　ねえ」

「んあ……？　何だ、あんたか」

いつもの昼休み、俺はいつものように屋上で不貞寝をしていたのだが、急に揺さぶられた。

眼を開けてみれば、そこには長い黒髪を持った、いかにもな美少女。

その髪は、暑いんじゃないかと思うほどに黒く、綺麗で……彼女
の瞳は奈落のように、底なしに黒かった。

「……………」

「……？　何かしら？」

「っ、あ、いや、何でもない。てか、話があんのはそっちだろ」

その容姿に一瞬見惚れたが、何とか応えることが出来た。

コイツは、1年の時に同じクラスだった女子だ。
特にこれと言って接点だなかったのだが、この美貌を見て、一目で記憶に焼きついたのだ。

彼女は、俺の言葉に鷹揚に頷き、話し出す。

「そうね。私は貴方に話がある」

「だから、その内容は何なんだよ」

「……………」

な、何だろうか。いきなり黙って俯いちゃった。

表情は、少し長めの前髪で隠れて窺い知れない。
俺は、如何すればいいのだろう。

「……………その、ね」

「ああ？」

漸く喋り出したと思ったら、最初の威勢は何所えやら、細い声で話しかけてきた。

コイツ、本当に“アイツ”なのだろうか。
本来のアイツは、もっとこう、毅然としてた筈で、どこか自己中
心的な感じがした筈なんだ。

だけど、今のコイツは、まるで……………。

「私、前から貴方のことが……………」

「……………」

まるで、コイツは……………。

「だい、大、大っ嫌いだったのっ!!」

「……だろっな」

宿敵に立ち向かう、主人公の様だ。

そう、つい最近からこんなことが始まった。

屋上での俺の貴重な睡眠時間を、コイツは見事に潰しに来るのだ。
俺の事が嫌いに決まってる。

そうじゃなきゃ何なんだよ……。

今までも、こんなやり取りを繰り返しているのだが、最後には決
まってコイツが。

「あっ！ やっぱ、今の無しで！ あああっ！！ どうして何時も
あそこであんな言葉が出るのよ！ 私のド馬鹿あ！！」

綺麗な黒髪を掻き毟り、訳の分からない状態になるんだ。

そして、俺はそれを何とか宥めようとして、昼休みが過ぎて行く。

これが、俺の日常的一幕。

（後書き）

何だろうか、私はこんな女子が好みだったのだろうか、とても不安だ。

ついでに、知っているか分かりませんが、女子の方のモデルは一乃さんです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5772s/>

ただの日常

2011年10月7日14時53分発行